

ひとよし 市議会だより

第112号



2022 / 令和4年5月1日 発行



5月6日に供用開始となる新市庁舎の議場

主な内容

- ② 3月定例会・1月臨時会報告
- ⑥～⑩ 一般質問 ～市政を問う～
- ⑪ ウクライナ侵略に抗議する決議
- ⑫ 人吉市議会に関する
市民アンケート結果(抜粋)

編集 議会報編集委員会

発行 人吉市議会

人吉市西間下町字永溝7番地1

☎ 0966-22-2111 (代)

E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます

URL <https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>

3月定例会報告

令和4年3月第2回定例会は2月28日から3月24日までの25日間開催しました。

令和4年度 一般会計予算 198億2,106万8千円 可決 (前年度比 87億7,467万円の減)

前年比が大幅に減額となっているのは、令和2年7月の豪雨災害における各種災害復旧事業の進捗及び新市庁舎の完成が主な要因です。

うち、豪雨災害関連予算は32億1,987万6千円となっています。

人 事 案 件

監査委員の選任に
同意した方

井上 祐太 氏

教育委員会委員の
任命に同意した方

大園 恭幸 氏

審議された議案等の議決結果

※表決が割れた議案については、5ページに記載しています。

番 号	件 名	議決結果	番 号	件 名	議決結果
議第2号	令和3年度 人吉市一般会計補正予算(第11号)	原案可決	議第21号	人吉市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第3号	令和3年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議第22号	人吉市個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第4号	令和3年度 人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議第23号	平成28年熊本地震による人吉市庁舎一時移転に伴う人吉市が定める条例の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第5号	令和3年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議第24号	人吉市カルチャーパレス条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第6号	令和3年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	議第25号	人吉市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第7号	令和3年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議第26号	人吉市スマートシティ推進計画策定委員会設置条例の制定について	原案可決
議第8号	令和4年度 人吉市一般会計予算	原案可決	議第27号	人吉市教育支援委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第9号	令和4年度 人吉市球磨地域交通体系整備特別会計予算	原案可決	議第28号	人吉市立教育研究所設置条例及び人吉市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第10号	令和4年度 人吉市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	議第29号	人吉市国民健康保険条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第11号	令和4年度 人吉市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	議第30号	人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第12号	令和4年度 人吉市介護保険特別会計予算	原案可決	議第31号	人吉市成年後見制度利用促進審議会設置条例の制定について	原案可決
議第13号	令和4年度 人吉市水道事業特別会計予算	原案可決	議第32号	人吉市杵山温泉分湯に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第14号	令和4年度 人吉市公共下水道事業特別会計予算	原案可決	議第33号	人吉市営単独住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第15号	令和4年度 人吉市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決	議第34号	工事請負契約の締結について	原案可決
議第16号	令和4年度 人吉市公共用地先行取得事業特別会計予算	原案可決	議第35号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	選任同意
議第17号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第36号	人吉市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第18号	人吉市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第37号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	任命同意
議第19号	人吉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	発議第6号	人吉市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第20号	人吉市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	決議第1号	ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議	原案可決

1月臨時会報告

令和4年1月14日の臨時会では、議員辞職に伴う特別委員会の定数変更2件と、人吉球磨広域行政組合議員の人吉市選出議員補欠選挙がありました。

また、新型コロナウイルスワクチン接種に関する国庫負担金や、新型コロナウイルス感染症の影響を受け家計が急変した世帯に対する臨時特別給付金等に関する補正予算1件を原案可決しました。

仮本庁舎の議場で最後の審議

3月定例会の最終日である24日は、仮本庁舎議場での最後の本会議となりました。熊本地震後の平成28年6月から約6年間お世話になりました。



総務文教委員会報告

●委員長 宮原 将志 ●副委員長 宮崎 保
●委員 松村 太・犬童 利夫・西 信八郎

令和4年度 一般会計予算を承認

総務部・復興局関係の主なものは、被災した公民館の建替え、修繕を支援する被災自治公民館再建支援事業補助金や西間別館に保健センター機能を移設するための改修工事費。青井阿蘇神社周辺にて計画している土地区画整理事業に係る換地設計等委託料。令和2年7月豪雨災害記録誌の作成に係る委託料などで、委員から、令和2年7月豪雨災害記録誌の活用方法はとの質疑があり、各町内会、図書館、近隣自治体、応援自治体等に配布予定。住民への全戸配布は考えていないとの答弁がありました。

教育部の主なものは、端末のオフラインでの持ち帰り学習に対応した学習支援ソフトの新規導入に伴う利用料。令和2年7月豪雨で被災した人吉城跡災害復旧工事や西瀬コミュニティセンター災害復旧工事費（解体）などです。委員から、西瀬コミュニティセンターの災害復旧工事の軟弱な地盤への対策はとの質疑に、軟弱な地盤対策として擁壁が沈下しないよう、軟弱地盤の範囲が深いところではコンクリートの支柱、地盤改良杭をいれる、浅いところにはコマ基礎という構造物を埋設する等の対策を十分に



人吉城跡災害復旧工事現地視察

とっていくとの答弁がっております。

カルチャーパレスの早期再開を求める陳情を趣旨採択

陳情の趣旨は、新型コロナウイルス感染症拡大や令和2年7月豪雨災害が重なり地域経済や文化にダメージを受けている時こそ、傷ついた心を癒やし生きる希望を与える文化芸術が必要であり、人吉球磨の「文化の殿堂」である現在休館中のカルチャーパレス(大ホール)の早期再開を求めるものです。カルチャーパレスホール棟の工事の進捗状況や近年のカルチャーパレスホール棟の使用稼働率など、様々な調査を経ながら委員会において慎重に審査を行ってきました。

委員から、陳情者の意向、カルチャーパレスを「文化の殿堂」として早く利活用したいという趣旨は十分に納得するところであるが、大ホールを改修する財源、経営の問題がある。趣旨は十分理解するところではあるが、採択するには難しい問題が多くあるように思うので、趣旨採択とすべきとの意見があり、全会一致で趣旨採択とすることに決しました。

趣旨採択とは

請願(陳情)について、願意は妥当であるが、実現性の面で確信がもてないといった場合に、不採択とすることもできないとしてとられる請願(陳情)に対する決定の方法のことをいう。(「地方議会運営事典(改訂版)」地方議会運営研究会編集より)

厚生委員会報告

●委員長 高瀬 堅一 ●副委員長 本村 令斗
●委員 徳川 禎郁・池田 芳隆・平田 清吉・井上 光浩

条例改正4件を承認

「人吉市成年後見制度利用促進審議会設置条例」は、認知症や知的障がいなどの精神上の障がいにより判断能力が十分でない方の権利を守り、財産管理や生活・療養に必要な手続きなどを支援し本人を保護する「成年後見制度」の利用の促進に関する事項を調査・審議する附属機関を設置するため新たに条例を制定するものです。

委員から審査の過程で「審議会の委員は何名か。またどのような構成か」の質疑に対し「委員は15人以内で、専門的な知識を有する弁護士、司法書士、医師、金融機関、民生委員・児童委員、福祉に関する団体が推薦する者、人吉市社会福祉協議会が推薦する者を考えている」との答弁がありました。その他、3件の条例の一部改正も提案され承認しました。



令和4年度一般会計予算を承認

主なものは、人吉市社会福祉協議会への補助金や復興

支援ボランティア活動推進事業、子育てのための保育利用料の無償化。さらに、中学3年生までの児童に対する子ども医療費の助成。身体の発育が未熟なまま生まれた子どもに対する養育医療費や児童手当に対するもの。保健衛生費の委託料では、四種混合ワクチン、小児用肺炎球菌予防ワクチン等の定期予防接種、成人男性の風しん抗体検査・予防接種及び65歳以上の高齢者に対するインフルエンザ予防接種、新型コロナウイルスワクチン接種等に係る業務委託料などです。



令和4年度特別会計5件の予算を承認

国民健康保険事業・後期高齢者医療・介護保険・水道事業・公共下水道事業特別会計の当初予算は、前年度予算を踏まえ、市民サービスの低下を招かないよう予算計上されています。

提出議案のいずれも、慎重審査を行い承認しました。

経済建設委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 牛塚 孝浩
●委員 西洋子・豊永 貞夫・福屋 法晴・大塚 則男

条例改正2件、工事請負契約の締結1件、予算案件3件を承認

条例の改正は、一つめは人吉市梢山温泉分湯に関する条例の一部改正で、人吉市と中小企業大学校人吉校の間で、年間温泉使用料を92万円プラス消費税だったものを、200万円プラス消費税に改めるものです。

二つめは人吉市営単独住宅条例の一部改正です。これは豪雨災害から2か年後の令和4年7月以降も引き続き入居を希望される方については、応急仮設住宅の供与期間が1年間延長可能になったことにより、市営単独住宅についても、延長要件に該当する方については、供与期間を1年間延長し、家賃を徴収しないこととするものです。

工事請負契約の締結は、大柿地区外農地災害復旧工事で、契約額6,459万2,000円で当初の査定設計金額で概略発注していたものが、工事の詳細な数量、施工工法が判明したことによるものです。主な変更は、表土流失により表土の購入が必要になり、約1億6,300万円が増額となったものです。

審査の過程において委員から、最終的に農家負担に関係してくることから、工事の発注の仕方、工事の施工方法、土砂の搬出距離等について様々な質疑、意見が出されました。

陳情案件1件を不採択

「有効求人倍率が高い職種への新規採用者に対する自治

体からの奨励金支給制度の制定に関する陳情書」は令和3年12月から継続審査となっていたものです。陳情の趣旨は、慢性的な人手不足が続いている警備業、運輸業について、全産業平均の有効求人倍率を大きく上回っている状況にあり、2業種の人手不足を解消するために、新規就職者に対し、就職時、また、就職後定期的に奨励金を支給する制度を制定いただきたいというものです。県下各市の状況について、執行部から資料の提出や説明を受けました。

審査の過程において委員から、「趣旨は理解するが、効果があるか心配」、「この制度を導入すると、人吉球磨で人員の取り合いになる可能性もある。人吉市だけで実施しても効果はないのでは」などの意見が出されました。

採決の結果、賛成者がなかったため、不採択とすることに決しました。

令和4年度一般会計予算は附帯決議を付して承認

人吉しごとサポートセンター業務委託料2,231万2,000円は、センター長はじめ、従事する職員の服務管理等を委託するものです。病気で療養中だった新センター長が就任できないという説明を受け、「現在センター長が不在であることから、センター長に関わる経費は執行しないこと。起業創業・中小企業支援のあり方について精査し、市議会に報告すること」の附帯決議を行いました。

また、羽田橋橋梁補修工事については、現地視察を行いました。

治水・防災に関する特別委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 池田 芳隆 ●委員 全議員

「西瀬橋及び天狗橋の復旧」の説明を受けました

本特別委員会を令和4年3月2日(水)に第10回を開催し、国土交通省九州地方整備局八代復興事務所より、「西瀬橋及び天狗橋の復旧」について説明を受けました。

西瀬橋については、一径間^(※1)だけが流失したため、一径間だけを元のデザイン、元の形で架け替える。工事は今架かっている応急組立橋を撤去するため、交通止めの必要がある。なるべく影響を少なくするため、側道橋については今年の冬休み、学校が休みの時に作業できればと考えているとのことでした。

天狗橋については早急な災害復旧ということで、現位置、原形復旧という形を採用させていただき、堤防の法線^(※2)の中に橋台を新しく作り、一径間だけを撤去して、新しい上部工を架け替えるとの説明でした。

委員から、河川や橋梁の復旧に当たっては、コスト面ばかりではなく、安全面を重視していただきたいという意見を始め、様々な質疑・意見がありました。

※1：径間とはさしわたし（一方から他方へかけ渡すこと）の距離のこと、ここでいう「一径間」は、橋脚と橋脚の1つの区間のことを指します。

※2：堤防における「法線」とは、堤防や河道の平面的な形状を表す線のことで、川幅を定める役割を持ちます。



応急復旧後の西瀬橋



被災直後の天狗橋

復興のまちづくりに関する特別委員会報告

●委員長 宮原 将志 ●副委員長 西 洋子 ●委 員 全議員

第8回 復興のまちづくり特別委員会において「被災市街地復興推進地域(青井地区)における今後の事業の進め方」について審査を行いました。青井地区の事業の進め方については、国道445号の拡幅整備や青井阿蘇神社周辺を拠点とした賑わいづくりなどの基盤整備の方針や事業を行っていくための手法の一つとして、土地区画整理事業が有効であると判断したとの説明がありました。

委員から土地区画整理事業に伴う換地や国道445号の事業の進め方など質疑があり、国道445号については、区画整理ということで、ある程度街区ごとに事業を行っていくとの答弁がありました。

第9回 復興のまちづくりに関する特別委員会では、「被災市街地復興推進地域(中心市街地地区)におけるまちづくりの現況」について審査を行いました。

中心市街地地区における今後の事業の進め方については、2回目



拡幅整備が検討されている国道445号

の戸別訪問時の意向や、山田川の河川整備方針も見据えながら、土地利用や基盤整備、事業手法といった方針を取りまとめ、被災市街地復興推進地域の建築制限が解除される令和4年7月までには中心市街地の復興イメージを住民の皆様を示したいとの説明がありました。

委員から山田川の整備についてや九日町通りの電線の地中化は検討されているのかなどの質疑があり、電線地中化については、景観という意味合いから大きく念頭に置いて取り組むべきものだと思っているので、総合的な観点からまちづくりをしていきたいとの答弁がありました。



三条橋から見た山田川

…令和4年3月定例会の請願・陳情等の議決結果…

付託委員会	件 名	議決結果
総務文教委員会	陳情書(カルチャーパレスの一日も早い再開を求めます)	趣旨採択
経済建設委員会	有効求人倍率が高い職種への新規採用者に対する自治体からの奨励金支給制度の制定に関する陳情書	不採択

議員別表決 …「表決が割れた」議案とその議員別表決…

賛否が分かれたもののみを掲載しております。

議案 番号	議員氏名 議案	松村	徳川	池田	牛塚	西	宮原	高瀬	宮崎	平田	犬童	井上	豊永	福屋	本村	田中	大塚	西
		太	禎郁	芳隆	孝浩	洋子	将志	堅一	保	清吉	利夫	光浩	貞夫	法晴	令斗	哲	則男	信八郎
議第8号	令和4年度 人吉市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	／
議第19号	人吉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	／
議第24号	人吉市カルチャーパレス条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	／
議第26号	人吉市スマートシティ推進計画策定委員会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	／
議第30号	人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	／

(5) ○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 ／：議長は表決に加わりません

ごみ収集の現状と 高齢者ごみ出し支援策



大塚 則男



動画視聴

問

人吉市の家庭ごみ収集の状況は。

家庭ごみの出し方は、指定ごみ袋で集積拠点に出す「道だし」が729か所とごみ集積専用の「小屋だし」が615か所となっている。市内中心部では「道だし」、郊外部では「小屋だし」が多い状況にある。収集回数は、可燃ごみが週2回、不燃・資源ごみが週1回となっている。

問

高齢者ごみ出し支援対策としてモデル地域等の検討はできないか。

ごみ出し困難世帯は今後も増加傾向にあり重要課題と認識している。コミュニティ支援型として支援活動を行政が補助金などでバックアップする方法が全国的に増加している。担い手不足や地域格差の課題もあるが、先進事例を参考に関係部署と連携し検討したい。

災害記録誌作成と 太陽光発電所工事について



豊永 貞夫



動画視聴

問

令和2年7月豪雨災害で、本市がこれまで対応した経験と課題を検証し、後世に残すための「災害記録誌」の作成の内容で、職員と被災者が、その時にどう考え、行動、判断したかの証言を多く残すべきだと思うが、本市の考えは。

令和4年度に予算計上しているが、被災状況の写真やデータ等を活用し、災害時や復旧・復興の経過、災害ボランティア等の支援活動、被災者及び市民のインタビュー記事などを交えて作成したい。

問

山あいの太陽光の開発工事で、発破作業がされている。期間が10月までとあり、梅雨時期の土砂災害が心配との声があるが。

事案が発生した場合は、民間会社と熊本県、人吉市の3者協定に基づき適切な措置を要請する。

持続可能な地域を目指して



宮原 将志



動画視聴

問

きじうまコインの普及策は。

新年度予算にデジタルプレミアム商品券の予算を計上している。また、ポイントの付与制度を早期に実現させることが必要である。

問

人吉医療センターの産科の休止を受け、産科医の確保に向けた支援をどのように考えているか。

人吉球磨管内のみならず、県境を越えた自治体とも連携した要望活動や予算を伴う取組など様々な方策を検討していく。

問

ウィズコロナ時代において、学びを止めないため、端末を活用した家庭学習の機会を作らねば。

答

オフラインで利用可能な学習ソフトの導入を進めている。家庭学習の方法などの協議を重ねており、一学期中の持ち帰りに向けて準備をしている。

復興まちづくり計画並びに 農業活性化対策



平田 清吉



動画視聴

問 球磨川本川に流れ込む支流河川における堆積土砂の撤去状況は。

答 鬼木川では、鶴田町の山田川合流部から人吉IC入口までの、約1300mに堆積した土砂を撤去中。福川では、下薩摩瀬町の御溝川合流部から国道219号までの、約550mに堆積している土砂の撤去工事を、3月中旬に着手する予定。御溝川では、人吉駅周辺に約150mに堆積している土砂の撤去工事を、4月以降に着手する予定。

問 御溝川二次放水路整備事業の進捗状況は。

答 工事計画延長1300mの約50%を、令和3年度末に完了予定。

問 農業活性化事業で下原田町嵯峨里地区の水

路の改修ができないか。

答 平成28年から毎年、熊本県に農業農村整備事業計画書を提出中。

ダイオキシンを含む 除草剤の撤去を



本村 令斗



動画視聴

問 林野庁が埋設した猛毒のダイオキシンを含む除草剤が、伊佐市には2カ所に埋められている。伊佐市の議員より、一カ所は分水嶺を越えた人吉側との報告があった。人吉市に流れ込む川の上流部に埋設されているのか。

答 九州森林管理局によると、桑木津留川上流部の間根ヶ平^{まねがひら}国有林に埋設されているとのこと。

問 どれだけの量が、どのような方法で埋められているのか。

答 埋設量は375kg。1m以上の深さに、土壌と混ぜたコンクリート塊^{かた}として埋設されている。

問 除草剤の撤去を要望すべきでは。

答 関係機関の情報収集を行い、実態把握に努めて要望を検討したい。

※その他、国保税を引き上げないように求める質問等を行いました。

子育て世代への支援策は 他



池田 芳隆



動画視聴

問 子育て世代への新たな支援策について、検討中のものはあるのか。

答 復旧・復興に向けた重点事業への集中と選択等による財源確保が急務となっている中、令和4年度から事業の休止等見直しを行った。新たな支援策は、市全体の財政状況を見極めながら、適切に判断をしていきたい。

問 被災した家屋の中に、特定空き家に該当するものはあるのか。

答 所有者等がない空き家は、老朽化の進行により市民生活環境への影響が予見されることから、人吉市空き家等対策協議会の協議を経て特定空き家の認定を行った。

問 今後の解体のスケジュールは。

答 特定空き家の解体は略式代執行の準備に入る。法に基づき、国や県の指導を受け適切に対応したい。



人吉市復興計画について 他



徳川 禎郁



動画視聴

問 青井地区の区画整理事業の県施行に本市はどのように関わるのか。

答 地元事情に精通している市職員を県に派遣することは、事業の進捗に寄与できると考えられる。復興の進捗に応じて適宜組織を見直し、体制を整えてまいりたい。

問 中心市街地の事業計画案の提示はいつ頃か。

答 山田川の整備計画の検討状況を踏まえ、慎重な検討が必要と認識している。安心・安全と、賑わいのある街の再生に繋げるための事業計画を、速やかに進めたい。

問 小・中学校トイレへの生理用品の常備について、市の考えは。

答 児童・生徒の心情に配慮した対応を進めていきたい。

※その他、老人福祉センター、障がい児通所支援事業について質した。

復興の現状とこれから・子どもたちについて



松村 太



動画視聴

問 今後の災害廃棄物への対応は。

答 災害廃棄物の分別作業効率化は熊本モデルと評された。候補地と搬入ルート等は改めて検討したい。

問 球磨川水害タイムラインの運用について、見直しはするのか。

答 球磨川の基準水位を引き下げて運用している。河岸整備等を実施し浸水被害軽減に取り組んでいる。

問 ラフティング事業等の観光復興のめどう対応するのか。

答 アクティビティ割引や、新たな商品化への取組等の支援を予定。

問 第6次総合計画前期計画の事業見直し方針について趣旨・目的は。

答 市民と行政が新たな価値を創出する好機。市民・地域一丸となり未来型復興事業を推進したい。

※他、学校でのマスク生活のコミュニケーション維持について質した。

過疎地域追加を受け 早急な企業誘致活動を



福屋 法晴



動画視聴

問 人吉市が過疎地域に追加されたが、法に基づく財政支援はいつまで続くのか。

答 本市では、令和4年4月1日から令和13年3月31日まで、現行法に基づき支援が受けられる。

問 将来に負担を残さないための将来負担率はどうなっているか。

答 過疎地域へ追加されたことによる財政的メリットはあるが、将来負担に変わりはなく、市債発行額を見極めながら、財政運営に努めていきたい。

問 台湾の企業「TSMC」が熊本県に進出予定であるが、関連企業誘致についての考えは。

答 現時点では半導体関連の企業誘致に関する問い合わせはなく、今後、速やかに対応できるように情報収集に努めていきたい。

過疎地域追加に伴う
各施策について 他



牛塚 孝浩



動画視聴

問

高齢化が進む中、地域特性に応じた交通システムの構築が重要だが取り組みはどうか。

答

国も、財政面やノウハウ面で支援している。当地域に合った交通体系を構築してまいりたい。

問

人口減少と高齢化が進む町内会の人手不足解消のため、ボランティアを繋ぐ仕組みは作れないか。

答

ICT技術を使い、地域活動のデジタル化を推進する意義は大きい。できる事を検討したい。

問

コロナ禍でも経済を回せるよう、新たな観光資源として、地域の宝を発掘・発信する仕組みづくりと、支援をお願いできないか。

答

先進事例等を参考にし、新たな支援をする仕組みを検討したい。

※他、ふるさと納税等の情報公開と、被災者の建設トラブルを質した。

上流に遊水地の整備を
農地整備の負担額は



田中 哲



動画視聴

問

流域治水について、人吉市の上流に大柿地区と同等以上の掘り込み式の遊水地を整備すれば、大柿地区住民の苦悩もなく、中心市街地付近の水量軽減策にもなると思うが、国・県に具申する考えは。

答

大柿地区の遊水地は市より下流域で効果を発揮するよう、計画が進められている。昨年11月に現時点での遊水地の配置案や、住まいの再建について、国と共に方向性等を示した。検討を進めていく過程では、生活や生業なりわいにも大きな影響を及ぼす可能性や、様々な課題が出てくると思うので、可能な限り地元の意向に沿った事業の推進に努めたい。

問

復旧が完了した農地の負担額は。

答

一反当たり最高額が中神地区8万2千円、大柿地区5万6千円。

田んぼダム、水道施設活用の
発電について



犬童 利夫



動画視聴

問

田んぼダムの成果と新たな取組について進捗は。

答

人吉球磨田んぼダム効果等検証委員会の実証実験で得られたデータから流出抑制に一定の効果が確認された。令和4年は地下浸透による洪水緩和機能の効果や課題を明確にするため、南校高校の実習田で地下浸透櫛あじの設置、畦の築造と熊本型機能分離型排水櫛あじの設置を同時に行うとのことであった。

問

再生可能エネルギーとして注目されている水道施設を活用した水力発電の取組の考えは。

答

設置等の条件から、蓬莱配水池において設置の可能性がある。しかし築造から52年を経過し老朽化が進んでいることからアセットマネジメント等を考慮したうえで、導入について検討したい。



言い換えマニキュアルについて



西 洋子



動画視聴

問 令和3年12月議会で和製英語を含む力タ力ナ語が多用されている現状について一般質問した。その後、どのような取組がなされたか。

答 その言葉が十分社会に浸透しているか、言い換え語が必要かということを改めて考慮し対応している。また、年齢層や対象にも配慮が必要で、非常に難しくなっていることにも気づかされた。

問 今後の具体的な取組は。

答 「お役所言葉」も含めて、最新の状況を参考に言い換えマニキュアルを更新する。

問 市職員は誰でも閲覧可能なのか。

答 庁内の情報共有掲示板で見ることができ

問 一般向けに公開するのか。

答 市民向けにも形を変えてホームページで公開したいと考えている。

市長の政治姿勢について 他



高瀬 堅一



動画視聴

問 豪雨災害から1年8か月が経過したが、本市の復旧・復興は一向に進んでいない。「市役所は市民の役に立つ所」と書く。果たして市民の負託に答えているのか。

答 復興まちづくりの取り組みについては、着実に一歩ずつ進んでいるものと感じている。

問 本市は、水害被災地の観光地として日本中から注目されている。「観光産業の発展なくして人吉の復旧復興はない」と訴えてきたが、

答 年内に、市内のホテルなどが再建する。観光客も足並みがそろってくる。今後は、補助事業を十分に活用していきたい。

※その他、「災害被災者の現状と今後について」を質し、新市庁舎の維持管理費について「徹底した節約に努めてほしい」と切望した。

過疎地域指定要因検証を



井上 光浩



動画視聴

問 今回、過疎地域に追加されたが、本市の人口動向及び財政状況にどのような変化があったか。

答 人口は昭和30年をピークに減少傾向に転じている。また若年者人口は、昭和55年は19.1%だが、令和2年はわずか9.1%となっている。

問 過疎地域から脱却するためには企業誘致が一つの有効な手立てと考える。指定に伴う優遇措置はあるが、民間企業との乖離かいりを感じている。今後どのように企業誘致を進めていくのか。

答 「あらゆる業種」において、地域の強みを加速させる企業及び、地域に不足している部分を補う企業が、未来型復興を進める上で必要。本市の付加価値が上がるような企業誘致に取り組んでいきたい。

ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議※を可決

2022年2月24日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵略は、国際社会の平和と安全を著しく損なう暴挙であり、断じて容認することができない。

このような武力を背景とした一方的な現状変更への試みは明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすものである。

また、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は、今回の軍事侵略に際し核兵器の使用を示唆するような発言を行った。

我が国は世界で唯一の被爆国であることから、本市においても昭和60年に「核兵器廃絶・平和都市宣言」を行い、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を強く願ってきたところである。このような本市の立場からウラジーミル・プーチン大統領の発言は断じて許されない。

ここに人吉市議会はロシアに対して、ウクライナへの一連の軍事侵略に断固抗議するとともに、日本国政府におかれては、国際社会と連携し、毅然たる態度でロシアへの制裁措置の徹底及び強化を図り、即時無条件でのロシア軍の完全撤退を求める。

さらに、日本国政府においては、ウクライナにおける邦人や避難民の確実な救済対策などを考慮され、加えて、在日ロシア人への差別や人権侵害についても最大限の配慮を講じられるよう強く求める。

以上、決議する。

上記の決議は、3月定例会において全会一致で可決しました。

※決議とは議会が行う事実上の意思形成行為で、議会の意思を対外的に表明することが必要である等の理由でなされる決議のことをいいます。

熊本県への要望活動

令和2年7月豪雨からの復旧・復興に向けた更なる支援をお願いするため、2月22日に松岡市長等と共に、人吉市議会を代表して西議長、大塚副議長、宮原復興のまちづくりに関する特別委員長が、蒲島郁夫熊本県知事と小早川宗弘熊本県議会議長等に対し、要望活動を行いました。



<要望事項>

1. 青井地区における被災市街地復興土地区画整理事業の県による施行
2. 青井地区における国道445号の未改良区間の改良整備
3. 本市の復旧・復興事業全般に対する人的支援及び各種支援

青井被災市街地復興土地区画整理事業協定締結式

令和2年7月豪雨災害により被災された方々の1日も早い生活再建を図るため、3月27日に県と協定を締結しました。青井地区における被災市街地復興土地区画整理事業を県と市が協力して施行することにより、土地区画整理事業の円滑な推進を図ります。



人吉市議会に関する市民アンケート 結果(速報)についてお知らせします



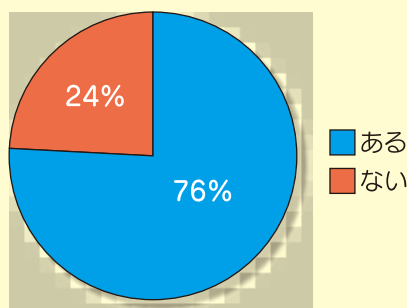
本アンケートにつきまして、348名の皆様にご回答いただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。

なお、紙面の都合により、主なものを抜粋して掲載させていただきます。詳細につきましては次号及びホームページ等に掲載いたします。

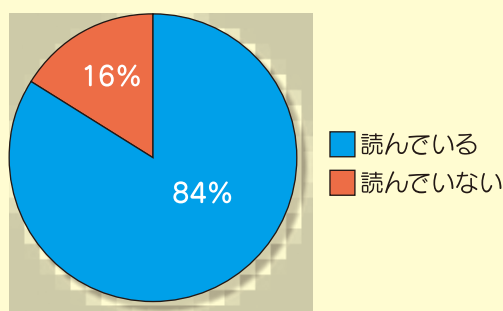
○お答えいただいた方の年代別人数

10代	1
20代	6
30代	20
40代	32
50代	42
60代	88
70代	118
80代	35
90代	1

○市議会への関心はありますか。



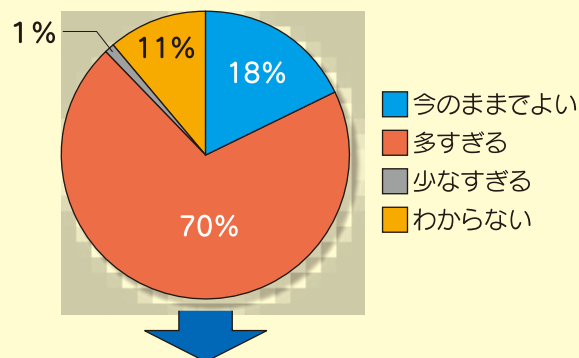
○年4回発行している議会だよりを 読んでいますか。



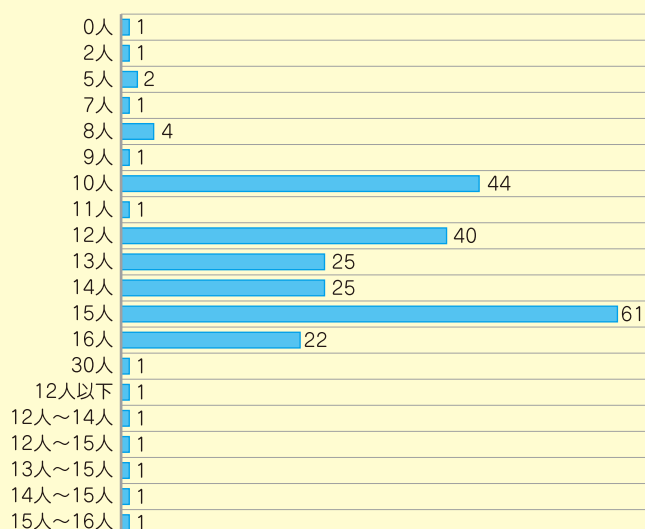
○人吉市議会の議員定数は、現在18名です。

あなたは定数についてどのように考えますか。

当てはまるものを1つだけ選んでください。



「多すぎる」「少なすぎる」を選んだ方が、適正と思われる定数は次のとおりです。



編集後記

令和4年3月27日に、人吉市新庁舎落成式と市制施行80周年合同式典が開催されました。本市は昭和17年の市制施行以来幾度となく災害に見舞われ、その度に乗り越えてきました。令和2年7月豪雨の大災害からの復興も、現在、人吉市再生に向けて進められています。

新しい防災拠点でもある新庁舎の供用開始は5月6日となり、熊本地震後から使用していたカルチャーパレス仮本庁舎の議場も、3月議会で最後となりました。6月議会からは新庁舎の議場で新たな歴史が始まります。

私たちは市議会議員として、これからも市民の幸福向上に努め、90周年、100周年へ向け、礎となつて市制発展に寄与してまいります。よろしくお願いたします。

(写真・文責) 豊永 貞夫

次の定例会は
6月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／西 信八郎 副委員長／大塚 則男
委員／徳川 禎郁・宮原 将志・宮崎 保・豊永 貞夫・本村 令斗・田中 哲